



～災害が起きたら、地域でどう動く?～

昨年度も民児協事業の一環として企画をしていただきましたが、今年度も10月2日に日本赤十字社佐賀県支部より講師をお招きし、『防災セミナー』を行いました。そして今回も、たくさんの地域の皆様にご協力をいただきました。



今回も、テーマは『自助』と『共助』。自分のいのちは自分で守るという意識と同じくらい大切なのは、そこに住む人々がそのコミュニティの中で互いに協力し助け合うことだと教えていただきました。小学生の子どもたちも、地域を構成する一員です。災害が身近に起こったとき、子どもたちに必要なのは、「誰とでもコミュニケーションが図れるようにすること」と「まわりにいる人と力を合わせて問題を解決できるようにすること」です。そのことを



意識できるよう、地域の方と一緒にグループワークを行いました。災害時に地域の力が発揮されるには、日頃から助け合う環境・住みやすい環境をつくっておくことが必要なのだそうです。そういったことに、子どもたちが地域の方と言葉を交わし楽しみながら、自然と気付いていけるような時間をもつことができたいと思います。今回の交流をきっかけに、今までよりも子どもたちと地域の方の関わりが増えることも期待しています。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

～田代に学ぶ、田代を学ぶ～

ここ数年はコロナ禍のために、対馬の小学校との交流は行っていませんが、6年生の子どもたちは、自分たちが住む田代という地域について、少しずつ学びを深めています。10月27日に、各区長さんや地域の方にご説明をいただいたり、見まもりをいただいたりしながら、5カ所(東明館跡、

代官所跡、八坂神社、代官所通用門、昌町追分石)を巡るフィールドワークを行いました。改めてきちんと見てみる



と、田代の町には歴史を感じることができる場所がたくさんあります。子どもたちも同じように思ったようでした。今回は歴史に関する

内容でしたが、内容にかかわらず、地域のことを知っている大人が、それを次世代の子どもに伝えていける、ということはとても貴重なことだと思います。今回の活動をきっかけに、子どもたちが自分のふるさとに関心を持ち、また次の世代に伝えていけるような人になれるといいですね

😊以下、子どもたちの感想を少し紹介します。

◆初めて聞いたことがたくさんあり、いろんなことを知りました。私たちが何気なく歩いている道にこんな歴史があるのだなと思いました。まだ田代には、私の知らない歴史があると思うので調べてみたいです。

◆私は最初、長崎街道というのを知りませんでした。でも、今日長崎街道についてくわしく教えてもらいました。長崎街道の歴史は、とてもおもしろかったです。

◆ふだんから道を通るときに、この辺ってちゃんと歴史がある場所なんだろうな...と思っていたので、今回しっかり学ぶことができてよかったです。

◆ぼくは、田代の歴史を知れてよかったです。一番気になった物は、田代小の入口にあった代官所跡です。ふだんたくさん通るけど、話を聞いて「なるほど」と思いました。

◆八坂神社はほぼ毎日見ていたけれど、推定600年の木や260年の木があることをしって驚きました。

◆豊臣秀吉や高杉晋作など有名な人の名前が出てきました。知らなかったことをたくさん知れました。私はもっと田代の歴史にふれていきたいと思いました。

◆田代には歴史がたくさんあるんだと思いました。教えてくださる人が1つ1つ分か

りやすく説明して下さったので理解ができました。ありがとうございます。これから、教えてもらったことを考えながら通りたいです。

